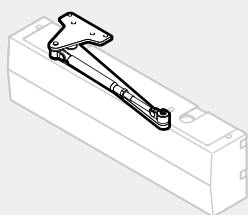


電動式ドア開閉装置 RUCAD

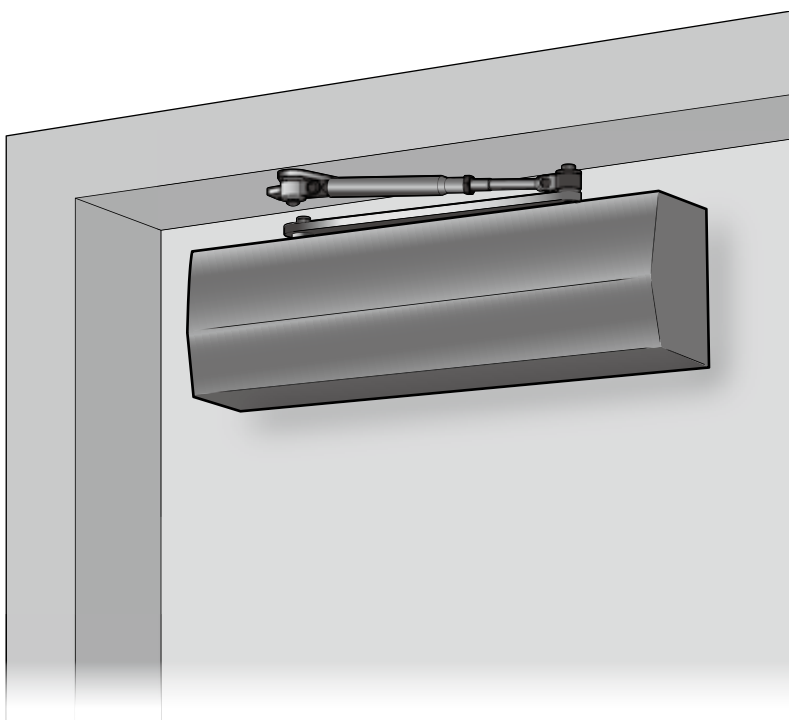
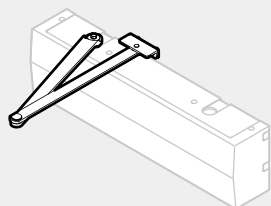
取扱説明書

	パラレルタイプ	スタンダードタイプ
扉 枠 内 配 線	RU-031P-B	RU-031H-B
露 出 配 線	RU-032P-B	RU-032H-B

パラレルタイプ



スタンダードタイプ



※ 図は「パラレルタイプ 左開き(L)」を示しています。

- このたびは、本商品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書は本商品を取り付けた後の取扱方法について説明したものです。
施工手順については取付要領書をご確認ください。
- この取扱説明書および取付要領書はお客様自身で大切に保管し、必要な時にお読みください。「電動式ドア開閉装置 RUCAD」
- 下記のURLおよび右のQRから取付方法を動画でご確認いただけます。
(別途通信料が必要となります)
https://www.ryobi-group.co.jp/qr/005_builder_rucad.html
- 電池パックが必要な場合は、お求めの販売店または当社営業所にご相談ください。

詳細情報WEBサイト



目次

1.はじめに	3
1-1. 安全上のご注意	3
2.各部のなまえ	10
2-1. 本体(共通)	10
2-2. 操作部(共通)	12
2-2-1. 開扉角度調整窓(閉扉用本体)	12
2-2-2. スイッチ面(電動本体)	12
2-2-3. 対応する調整区間	13
2-2-4. 初期設定値(工場出荷状態)	13
2-3. 電源BOX(共通)	14
2-4. アーム・リンク・ブラケット関係	15
3.設定方法	16
3-1. 設定前の準備を行う	16
3-2. 各種設定を行う	17
3-2-1. 最大開き角度(閉扉力無効区間)の設定	17
3-2-2. ドアを開くときの設定	21
3-2-3. ドアを閉じるときの設定	22
3-2-4. ドアの停止時間の設定	23
3-2-5. 待機時間の設定	24
3-2-6. その他の設定	25
3-2-7. 便利な機能	27
3-3. 設定後の復元を行う	28
3-4. 社外品の取付けについて	29
4.メンテナンス	30
4-1. 清掃、整備、点検を行う	30
4-2. 電池パックを交換する	31
4-3. 本体の取外しについて	35
4-4. 故障かな?と思ったら	36
5.停電時の対応	38
5-1. 停電時の動作について	38
5-2. 復旧操作	39
6.仕様	40
保証書(お問い合わせ)	裏表紙

1.はじめに

「RUCAD(ラクアド)」をお買い上げいただきありがとうございます。

- 本商品は一般的な建築物のドアに使用できます。
現在ご利用されている玄関のドアなどに後付けすることができますが、取り付けの前にご利用が可能か十分ご確認ください。また、本商品はドアで指を挟むのを防ぐための商品ではありません。予めご了承ください。
- 本商品は長期の停電や強い衝撃が加わった際に内部のスプリングが拡張して大きな音が鳴ることがありますが、安全上問題はありません。

1-1. 安全上のご注意

ご使用の前に、本書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、商品を正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでもご確認いただける場所に保管してください。

■ 表示の説明



警告

死亡や重傷を負う
おそれがある内容です。



注意

傷害や物的損害が発生する
おそれがある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

■ 使用上のご注意



警告



電源プラグやコードが傷んでいたり、コンセントの抜き差しが緩いままで使用したりしないでください。
火災や発熱の原因になります。



本商品には同梱の AC アダプター以外を使用しないでください。
火災や発熱の原因になります。



濡れた手で電源プラグや電源コード、配線の抜き差しを絶対にしないでください。
感電や火災の原因になり大変危険です。触る際は、保護手段（絶縁グローブなど）を使用してください。



ガタついているコンセントは使わないでください。
火災や感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超えて本商品を使用しないでください。
たこ足配線 など。

⚠ 警告

-  **本商品を指定の電源（AC100V）以外で使用しないでください。**
火災や発熱の原因になります。
-  **雷が発生しているときは、本体や電源プラグなどに触らないでください。**
火災や感電の原因になります。
-  **本商品に水をかけないでください。**
感電やショートの原因になります。
-  **本商品を分解、改造しないでください。**
故障の原因になります。
-  **本商品が破損するようなことをしないでください。**
引っ張る、ねじる、無理に曲げる、キズを付ける、加工する、加熱する、重い物を載せる、束ねる、挟み込む、落とす など。
-  **本商品の性能、または適用範囲を超えたドアには使用しないでください。**
商品の故障や、思わぬケガにつながるおそれがあります。
-  **脚立を使用する際は、安定した場所で使用してください。**
転落してケガをするおそれがあります。
-  **脚立などに乗って作業をする際は、バランスを崩して落ちないように注意してください。**
-  **既存のドアクローザを外す際、手順を守って取り外してください。**
手順を守らないと、不意にドアが閉まったり、脚立から落ちたり、指を挟んだりするおそれがあり、大変危険です。
-  **穴あけ加工時、切りくずが目に入らないように注意してください。**
穴あけ加工時は、保護ゴーグルなどを装着し、作業を行ってください。
-  **取り付け作業時、本体はしっかり持って作業してください。**
取付作業は上を向いて作業します。本体を落とすと、顔に当たり危険です。
また、本体が地面に落ち、故障するおそれがあります。
-  **本商品の正確な操作を保証するため、同梱している部品を使用してください。**
-  **本体を取り付ける際は、同梱されているネジを使用し、しっかりと締め付けてください。**
締め付け不良は思わぬ事故につながるおそれがあります。
-  **本体取付板および本体は、付属のネジでドアにしっかりと固定してください。**
（本体取付板および本体を固定するネジは最後までしっかりと締め付けてください）
ネジの締め付けが緩いと本体が落下し、ケガをするおそれがあります。

 警告

-  **本商品が破損したり変形したりしないよう、取り扱いには十分注意してください。**
破損や変形をしている商品を取り付けて使用すると、思わぬ事故の原因になります。
-  **各インターフェイスには、指定の電圧・電流を入力してください。**
指定の電圧・電流を越えて入力すると、故障や火災の原因になります。
-  **本体の設定を変更する際は、設定値に十分注意してください。**
設定値が適切でないと、ドアが不意に動いたり、開閉動作に問題が生じたりします。
-  **調整や設定を行なう際は、必ずドアに手を添えて行ってください。**
手を添えないと、ドアが不意に動きケガをするおそれがあります。
-  **ドアの開閉時、可動部やドアへの接触に注意してください。**
服などが挟まれたり、引っかかったりして大変危険です。
-  **強風時のドアの開閉には十分注意してください。**
ドアが風にあおられ、急に閉まったり、開いたりして大変危険です。
-  **長時間の使用により本体が過熱する場合は、すぐに本体の電源を切ってから電池パックのコネクターを外し、しばらく使用を控えてください。**
そのまま使用すると、過熱により故障や火災の原因になります。
-  **使用中に煙が出る、異臭がするなどの異常が発生した場合は速やかに使用を止めて、電池パックのコネクターを外し、電源プラグを抜いてください。**
思わぬ事故の原因になります。
-  **万が一、電源プラグに水がかかった場合は使用を止めてください。**
感電のおそれがあります。
-  **定期的に清掃・整備・点検を実施してください。**
(本書の P.30「4-1. 清掃、整備、点検を行う」参照)
ほこり、粉塵などが多い状態で使用すると火災のおそれがあります。
-  **本商品に使用しているネジに緩みがないか定期的に確認してください。**
ネジが緩んでいる場合は増し締めを行ってください。
-  **本商品には寿命があります。動きがおかしくないか定期的に確認してください。**
寿命が過ぎても使用し続けると、思わぬ事故の原因になります。
-  **メンテナンスを行う際は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。**
電源スイッチを「ON」のままメンテナンスを行うと、ドアが不意に動きケガをするおそれがあります。
-  **本商品の取り扱いには専門知識が必要です。本商品を取り外す、または、修理する際は必ず専門知識を持った方が作業してください。**
重傷または死亡の危険があります。

 注意


本商品は屋内用です。

雨や雪がかかる場所や湿気の多い場所で使用しないでください。



風雨にさらされる場所や、浴室などの湿気が多い場所のドアには取り付けしないでください。



適用ドアサイズを超えたドアには取り付けしないでください。

本商品の適用ドアサイズ

ドア巾(mm)	ドア重量(kg)
800～1,050	60～85



本商品の使用温度範囲は -10℃～ 50℃です。温度が -10℃を下回る時および 50℃を超える時、湿度が 80%以上の場所では使用しないでください。

・温度変化により、ドアの開閉速度が変化しますが故障ではありません。

・電池パックによる起動温度範囲は 0℃～ 40℃です。



本商品を取り付ける際は、取付位置や取付寸法を十分確認してください。

間違った方法で取り付けると、本体が正常に動作しません。



カバーおよび天面板を付けて使用してください。



取り外しや取り付けを行う際は、作業に適した服装で、周囲の安全を十分確保した上で作業を行ってください。

ケガをするおそれがあります。



既存のドアクローザを取り外したり、本体を取り付けたりする際、ネジの破損には十分注意してください。

ネジが破損すると、本商品が取り付けられなくなるおそれがあります。



ドアの開閉中は吊元側や本体の可動部に手を入れないでください。



無理やりドアを開閉しないでください。

勢いよくドアが開閉してしまい、人やものに衝突するおそれがあります。



ドアが自動で動いている際に、手で無理やり動かさないでください。

本商品が故障するおそれがあります。



本商品のアームに物をひっかけないでください。

アームに負荷が掛かり、アームが破損するおそれがあります。



本体を濡らさないでください。

故障の原因になります。

 注意

長期間使わないときは安全のため電源プラグおよび電池パックのコネクターをドアが開いた状態で抜いてください。

電池パックのコネクターを抜かないまま長期間放置すると、電池パックが放電することで電池容量が空になり、停電時に本体が動作しなくなります。



カバーや天面板が汚れた際は、水を含ませたやわらかい布を固く絞り、軽く拭き取ってください。

ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤かアルコールを布にふくませて拭き取り、乾いた布で仕上げてください。薬品を使用すると、カバーが変色したり、割れたりするおそれがあります。



ドアの経年劣化にご注意ください。

ドアの経年劣化（垂れ下がり、反り、曲がり、歪みなど）によって、本商品が正常に動作しない場合があります。ドアが経年劣化している場合は、速やかに建築物の管理責任者や施工メーカー、建具メーカーにご相談ください。



非常時の動作を安定させるため、本体と電源は常に接続したまま使用してください。

■ 電池パックに関するご注意

警告

-  **保管する場合は、電池パックを気密構造のケースに入れないでください。**
電池パックを破損させたり、身体に障害をあたえたりする原因になります。
-  **水や海水などにつけたり、端子部分を濡らしたりしないでください。**
発熱したり、端子などがサビたりする原因になります。
-  **外装チューブを外したり、キズを付けたりしないでください。**
液漏れや、発熱の原因になります。
-  **液漏れ、変色、変形など異変に気付いたときは使用しないでください。**
-  **電池パックが液漏れ、発熱、破裂する原因になりますので、下記事項を必ずお守りください。**
 - ・ 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を針金などの金属で接続しないでください。
また、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
 - ・ 本商品に接続すると、自動で充電が開始されます。本商品以外で充電しないでください。
 - ・ 分解、改造しないでください。発熱や発火をしたり、強アルカリ性の液が飛散したりして危険です。
 - ・ 直接はんだ付けしないでください。
 - ・ 本商品以外には使用しないでください。
-  **漏れ出た液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。**
-  **漏れ出た液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす場合がありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。**
-  **誤って口に入れることがないようにしてください。特に乳幼児の手の届かないところに置いてください。**
万が一、口に入れて飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。

 注意

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。



直射日光の強いところや、炎天下やストーブの前面などの高温な場所で使用、放置しないでください。

液漏れしたり、性能や寿命を低下させたりする原因になります。



ご使用済みの電池パックは貴重な資源ですので、一般のごみと一緒に廃棄しないでください。

端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、各自治体の回収または、家電量販店やホームセンターのリサイクル BOX をご利用いただき、リサイクルにご協力ください。



電池パックを使用しない場合は、本体から取り外し、-20℃～+30℃の温度で湿度の低い場所で保管してください。



電池パックには寿命があります。

同時期に使用開始した場合でも使用環境温度や充放電回数によって寿命が異なります。使用時間が短くなった時は寿命と判断し、新しい電池パックに交換してください。

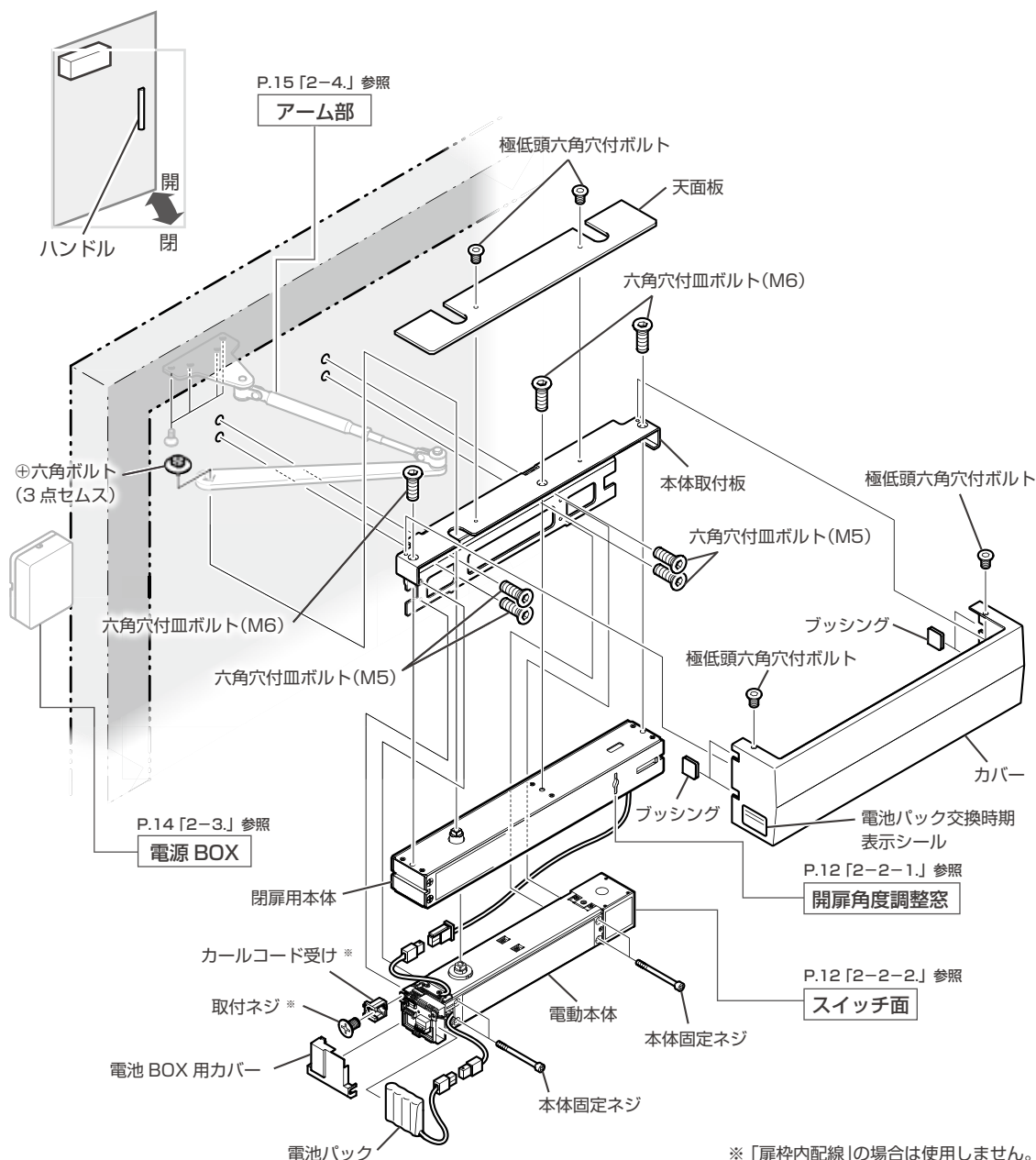
2. 各部のなまえ

- 本商品は、取り付けるドアの開き方向によってパラレルタイプとスタンダードタイプに分かれています。
- 本商品は、左開き用と右開き用で形状が一部違います。本書では「右開き(R)」の取付方法で説明していますが、一部「左開き(L)」で説明している箇所もあります。どちらも同様に作業を行ってください。

2-1. 本体(共通)

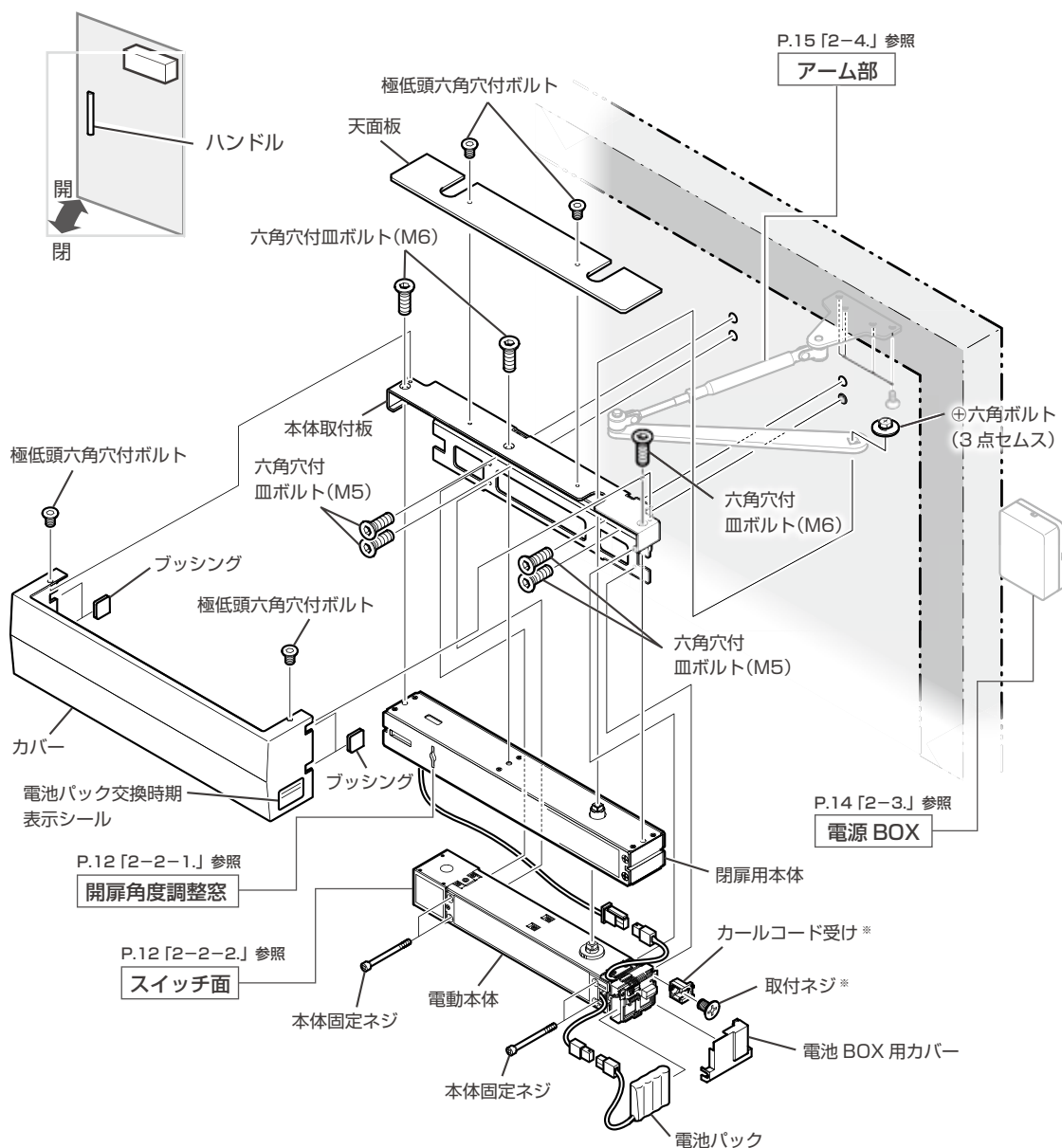
図は、パラレルタイプを示しています。スタンダードタイプはドアの開き方向に対して本体の向きが違います。

左開き(L)



※「扉枠内配線」の場合は使用しません。

右開き(R)

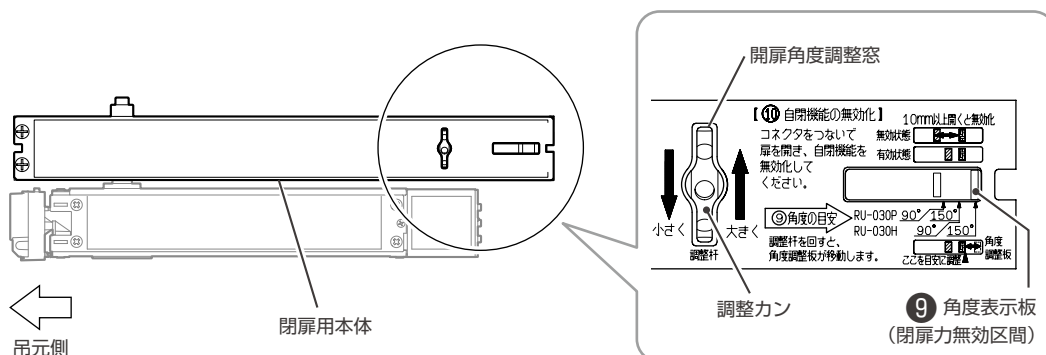


※「扉枠内配線」の場合は使用しません。

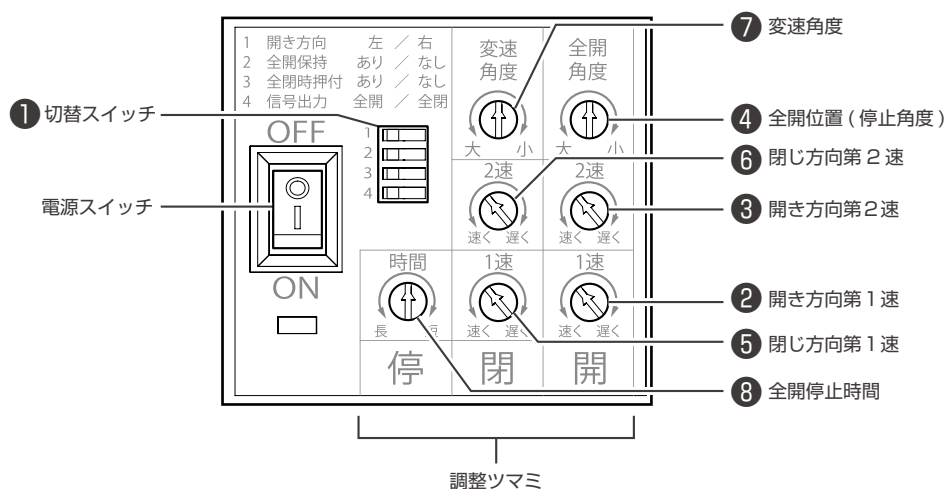
2-2. 操作部(共通)

丸付き数字は対応する調整区間を示しています。

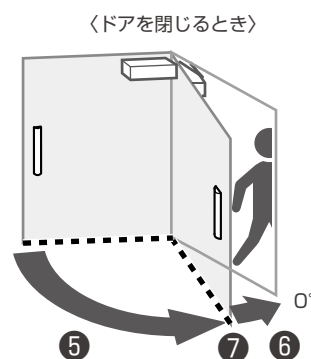
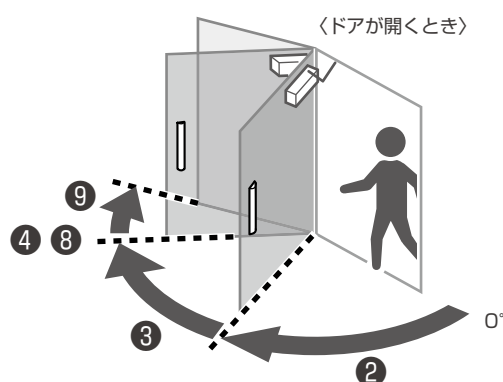
2-2-1. 開扉角度調整窓(閉扉用本体)



2-2-2. スイッチ面(電動本体)



2-2-3. 対応する調整区間

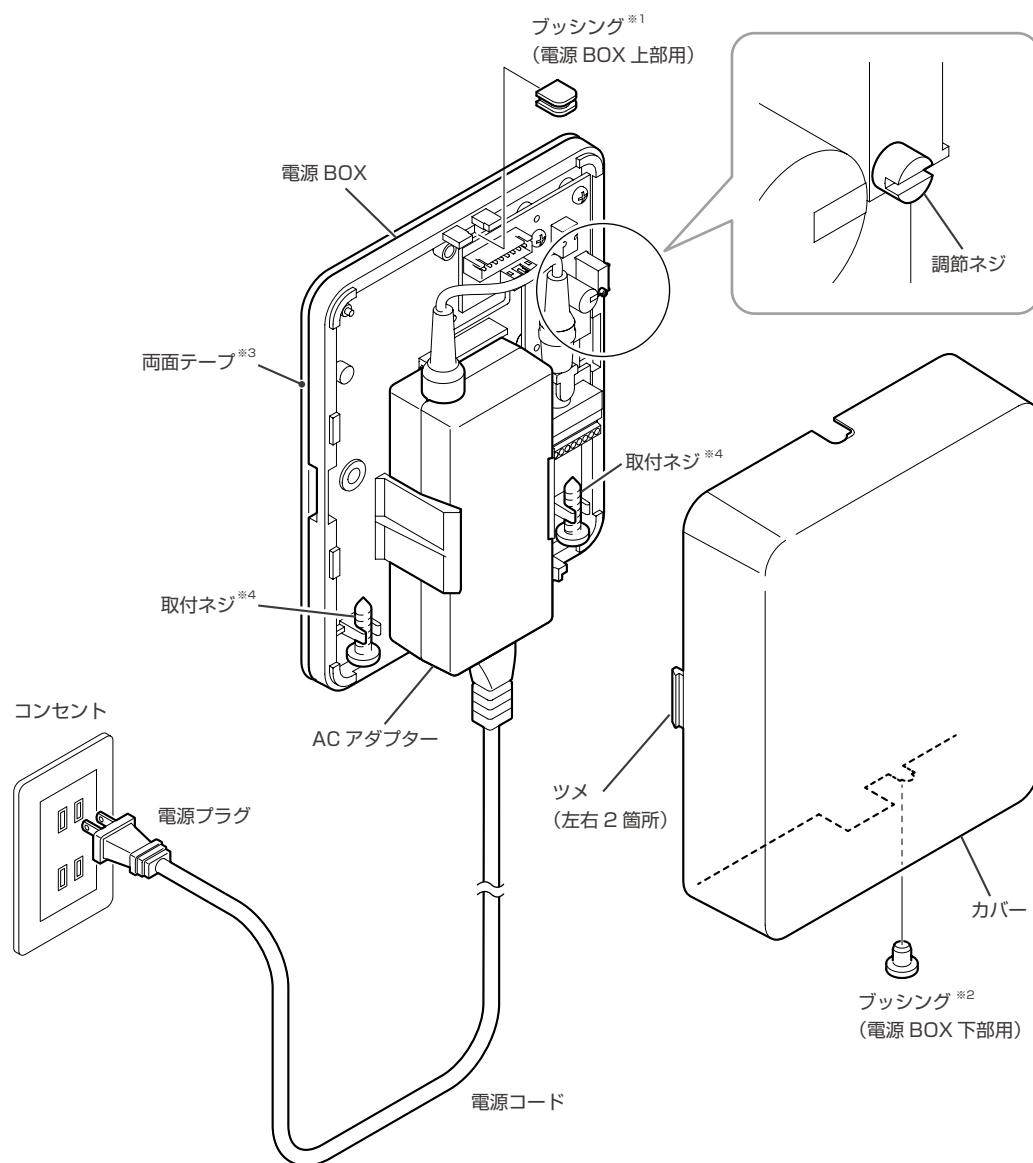


2-2-4. 初期設定値(工場出荷状態)

取付位置・ドア重量によって、角度・速度の値は変化します。

- 開き速度(② + ③) 6～8秒
- 閉じ速度(⑤ + ⑥) 6～8秒
- 変速角度(⑦) 最小
- 全開位置(停止角度)(④) 最小
- 全開停止時間(⑧) 1秒(最短)
- 最大開き角度(閉扉力無効区間)(⑨) 約150°(パラレルタイプ)、約90°(スタンダードタイプ)

2-3. 電源BOX(共通)



※ 1 露出配線の場合は使用しません。

※ 2 社外品を取り付ける場合は使用しません。

※ 3 枠が木製以外の場合は、電源BOXの固定に使用します。再利用はできません。

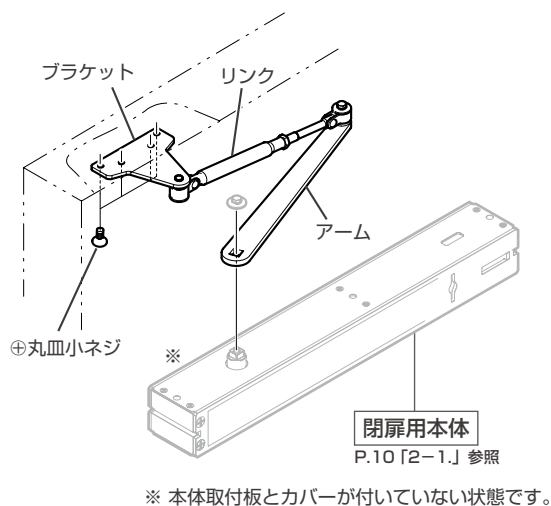
※ 4 枠が木製の場合は、電源BOXの固定に使用します。

2-4. アーム・リンク・ブラケット関係

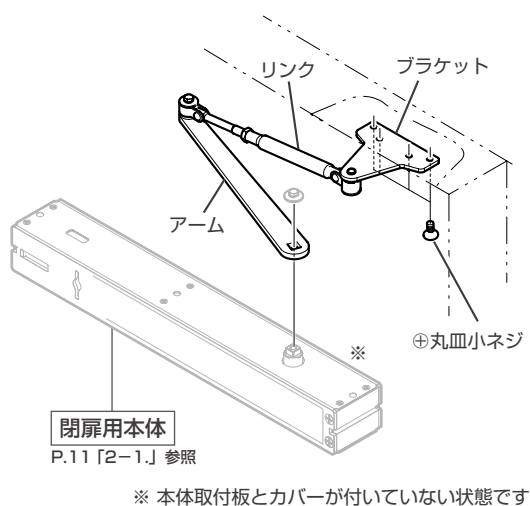
■ パラレルタイプ [RU-031P-B、RU-032P-B]

本体の向きにご注意ください。

左開き(L)



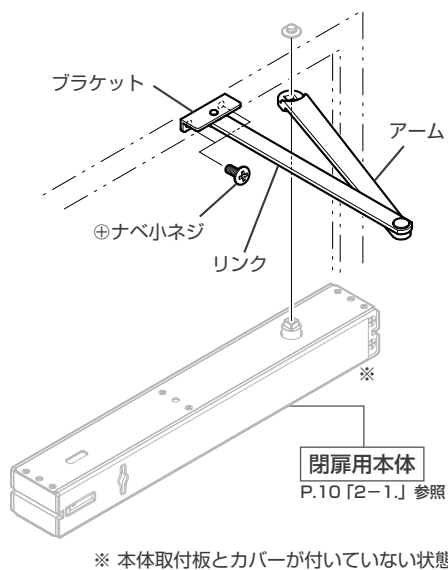
右開き(R)



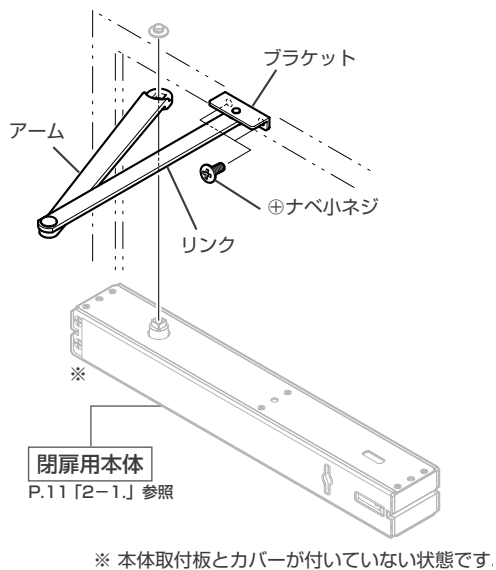
■ スタンダードタイプ [RU-031H-B、RU-032H-B]

本体の向きにご注意ください。

左開き(L)

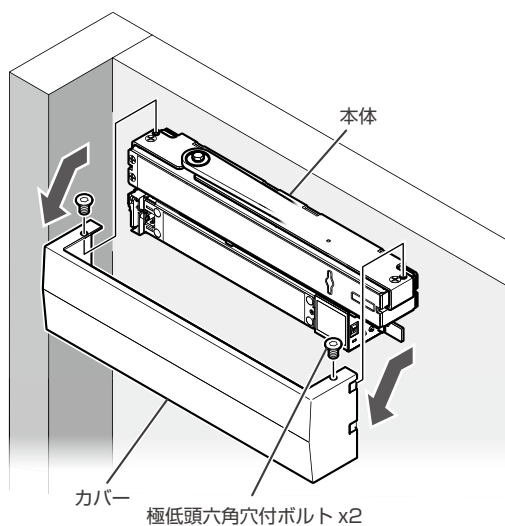


右開き(R)



3. 設定方法

3-1. 設定前の準備を行う



極低頭六角穴付ボルト(2本)を外し、
本体からカバーを取り外します。

⚠ 注意

❗ カバーの脱着時、コードがかみ込まない
ように注意してください。

👉 アドバイス

天面板を外す必要はありません。

3-2. 各種設定を行う

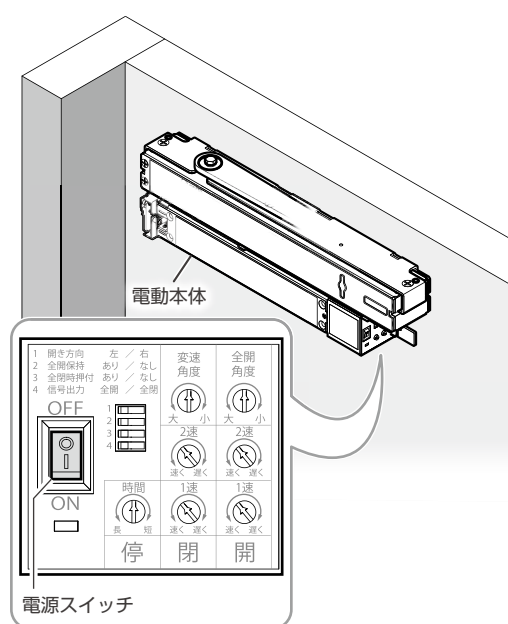
使用状況に合わせて、閉扉用本体と電動本体の設定を行ってください。

3-2-1. 最大開き角度（閉扉力無効区間）の設定

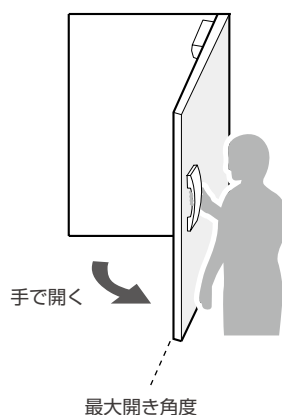
「最大開き角度」を設定した場合は、電動本体の全開位置の調整を行う必要があります。

「最大開き角度」の設定後、P.21 の「3-2-2. ドアを開くときの設定」に進んでください。

ドアの開くときの設定を行うと電動本体の動作が変化します。動作確認後、必要に応じて P.21 からの設定も行ってください。



1. 電動本体のスイッチ面にある電源スイッチを「OFF」にします。

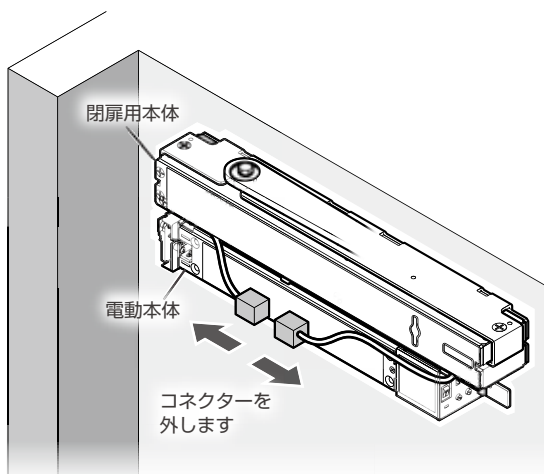


2. 「最大開き角度」まで、手でドアを開きます。

アドバイス

「最大開き角度」を設定していない場合は、ドアを開けるだけで構いません。

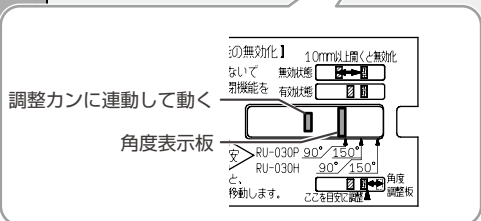
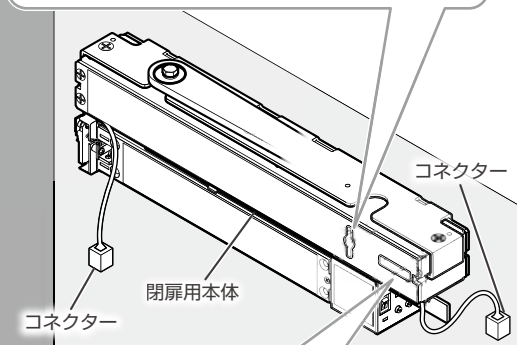
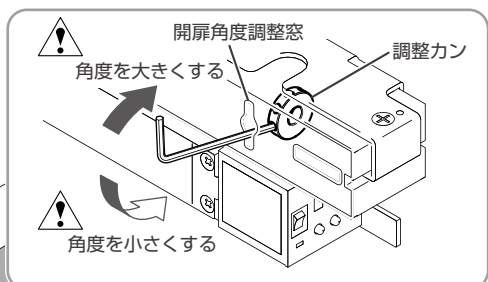
3. 設定方法



3. コネクタを引き出し、閉扉用本体と電動本体を接続しているコネクタを外します。

注意

- ❗ コネクタを外した際、「パチン」と音がしますが故障ではありません。
- ❗ **必ずドアを開いた状態でコネクタを外してください。**



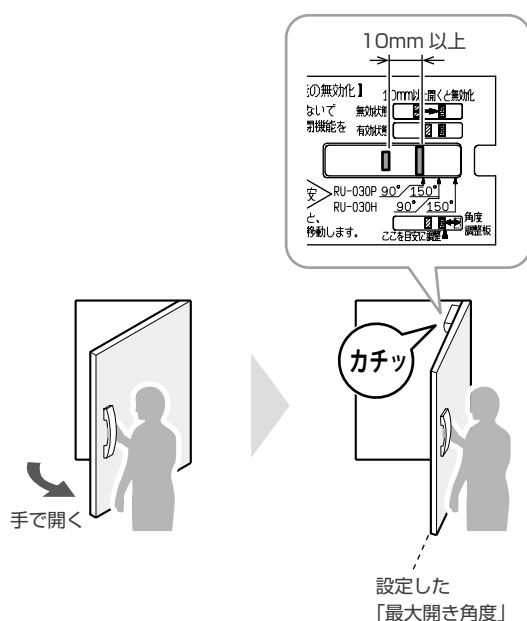
4. 閉扉用本体の開扉角度調整窓から六角棒スパナ(呼び3の付属品)または、プラスドライバーを差し込んで調整カンを回し、「最大開き角度」を設定します。

注意

- ❗ 調整カンの回し方向は、ドアの開き方向によって変わります。調整カンを調整する際は、角度表示板の動きを確認しながら行ってください。
- ❗ 「最大開き角度」の調整は、ドアを閉めた状態で行ってください。
- ❗ 「最大開き角度」の再設定を行う場合は、**必ずドアを開いた状態で閉扉用本体と電動本体のコネクタを外し、ドアを手でゆっくりと閉めてから行ってください。**コネクタを接続した状態で調整を行うと、本体が故障するおそれがあります。また、閉扉用本体と電動本体のコネクタを外したとき、「パチン」と音がしますが故障ではありません。
- ❗ コネクタの抜き差しを行う際は、丁寧に行ってください。コネクタ同士を斜めに差し込んだり、乱暴に扱ったりするとコネクタが破損し、接触不要の原因になります。

アドバイス

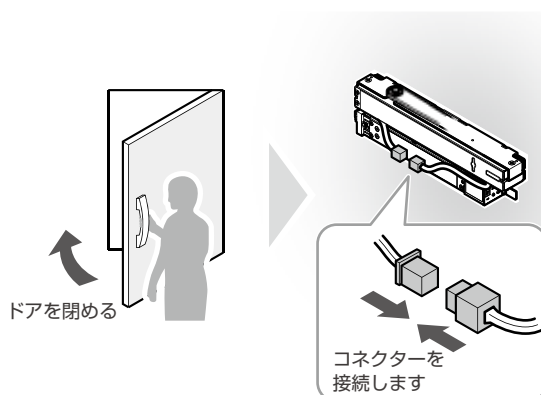
調整カンに連動して角度表示板が動きます。電動本体のラベルに記載している角度(設定したい開き角度に20°を加えた角度)に角度表示板の基準が合うように調整カンを動かしてください。



5. 手でドアを開き、設定した「最大開き角度」で角度調整板が10mm以上開くことを確認します。

アドバイス

- 角度表示板が開くと「カチッ」と音がしますが、環境によっては聞こえない場合があります。その場合は角度調整板が開くのを基準にしてください。
- 設定したい「最大開き角度」で角度調整板が10mm以上開いていない場合は、手順4.から再度設定を行ってください。
- 再設定の際、角度調整板が10mm以上になるのが開きたい角度より早い場合は角度を大きくし、遅い場合や「カチッ」と音がしない場合は角度を小さく設定してください。

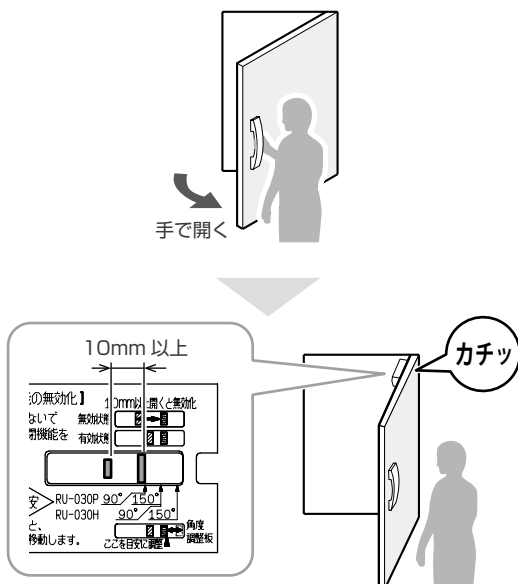


6. 手でドアをゆっくりと閉め、閉扉用本体と電動本体のコネクタを接続します。

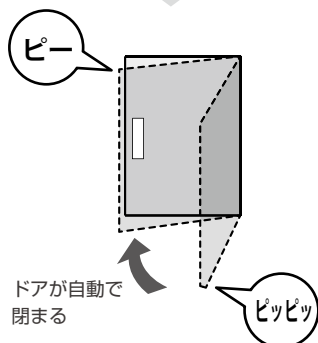
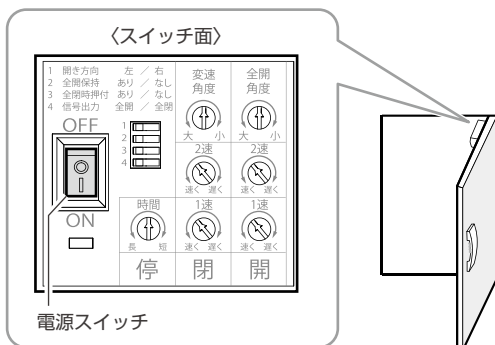
注意

- ❗ ドアは自動で閉まろうとします。手をはさまないように注意してください。
- ❗ コネクタの抜き差しを行う際は、丁寧に行ってください。コネクタ同士を斜めに差し込んだり、乱暴に扱ったりするとコネクタが破損し、接触不要の原因になります。

3. 設定方法



(ドアの状態によっては、10°程度動く場合がありますが、それ以上ドアが閉まらなければ設定できています)



- 手でドアを「最大開き角度」まで開け、閉扉用本体の開扉角度調整窓から「カチッ」と音がしたらドアから手をはなし、ドアが閉まらないことを確認します。

注意

- 「設定した最大開き角度で「カチッ」と音がしない場合」もしくは、「最大開き角度を再調整したい場合」は、手順2.からの設定を再度行ってください。
- 再設定は、必ずドアを開いた状態で閉扉用本体と電動本体のコネクターを外し、ドアを手でゆっくりと閉めた後に行ってください。コネクターを接続した状態で再設定を行うと、本体が故障するおそれがあります。また、閉扉用本体と電動本体のコネクターを外したとき、「バチン」と音がしますが故障ではありません。

- ドアが開いた状態で、電動本体のスイッチ面にある電源スイッチを「ON」にし、ドアが自動で閉まることを確認します。

注意

- 電源スイッチを「ON」にする前に、「左右開きの設定」がお使いのドアに合っているか必ず確認してください。設定が間違っていると、ドアが思わぬ方向に開き、危険です。「左右開きの設定」については、P.25の「3-2-6.その他の設定」の「■ 左右開きの設定」を参照してください。

アドバイス

電源スイッチを「ON」にすると「ピッピッ」と音がしドアが閉まり始め、閉まり際に「ピー」と音がします。

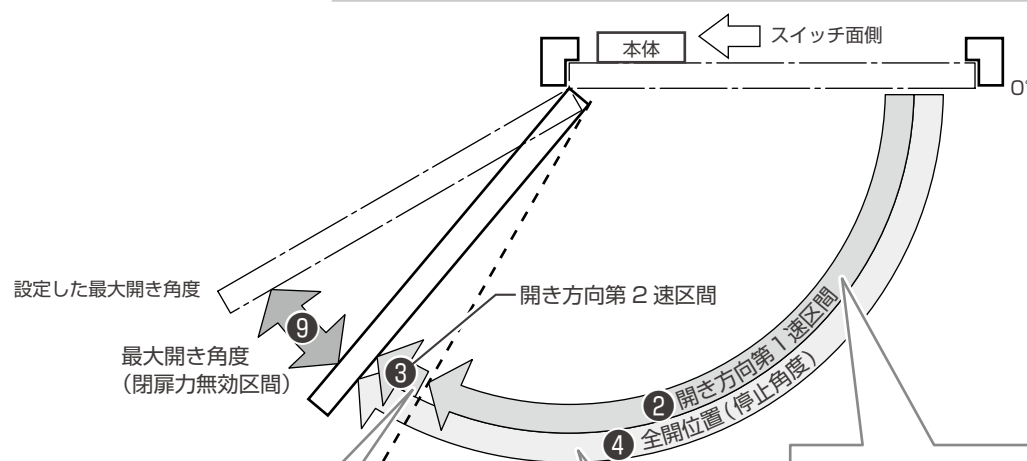
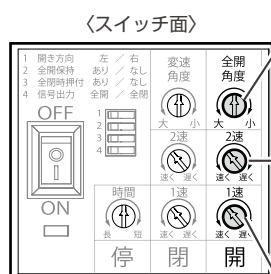
3-2-2. ドアを開くときの設定

⚠ 注意

- ❗ 設定する前に、左右開きの設定がお使いのドアに合っているか必ず確認してください。
設定が間違っていると、ドアが思わぬ方向に開き、危険です。
左右開きの設定については、P.25の「3-2-6. その他の設定」の「■ 左右開きの設定」を参照してください。
- ❗ 安全のため、ドアが開き始めてから90°開くまでの秒数は、6秒以上に設定してください。
- ⊘ 調整ツマミは指で回して止まるところが最大(最小)です。マイナスドライバーなどで無理にそれ以上回さないでください。

設定は、④→②→③の順番で行うことを推奨します。調整ツマミを回して、設定を行ってください。

	回転方向	初期設定	MIN (全右回し)	MAX (全左回し)
④ 全開位置 (停止角度)				
③ 開き方向第2速				
② 開き方向第1速				



- ・ドアが開き始めてから90°開くまでの秒数は、安全のため6秒以上になるように設定してください。
- ・設定した全開位置で確実にドアが停止するため開き方向第2速区間は開き方向第1速区間より遅くなるように設定してください。

「3-2-1. 最大開き角度(閉扉力無効区間)の設定」で調整した最大開き角度(⑨)より20°小さい角度に調整してください。調整の際は、ドアに手を添えて作業してください。

手動でドアを開けたいときは、調整ツマミを「遅くなる」の方向いっぱいに戻すと、開き方向第1速区間は自動開扉をしなくなり、手動でドアを開けることができます。
※開き方向第2速と閉じ方向は自動です。速度調整をおこなうと、センサーによる自動開扉は出来なくなります。

※ この図はイメージ図です。実際の最大開き角度は設定によって変わります。

3. 設定方法

3-2-3. ドアを閉じるときの設定

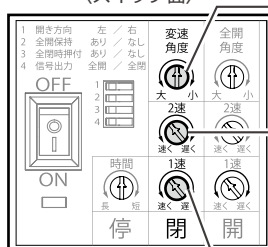
⚠ 注意

- ❗ 設定する前に、左右開きの設定がお使いのドアに合っているか必ず確認してください。
設定が間違っていると、ドアが思わぬ方向に開き、危険です。
左右開きの設定については、P.25の「3-2-6. その他の設定」の「■ 左右開きの設定」を参照してください。
- ❗ 安全のため、ドアが90°開いた状態から閉じきるまでの秒数は、6秒以上に設定してください。
- ⊘ 調整ツマミは指で回して止まるところが最大(最小)です。マイナスドライバーなどで無理に回さないでください。

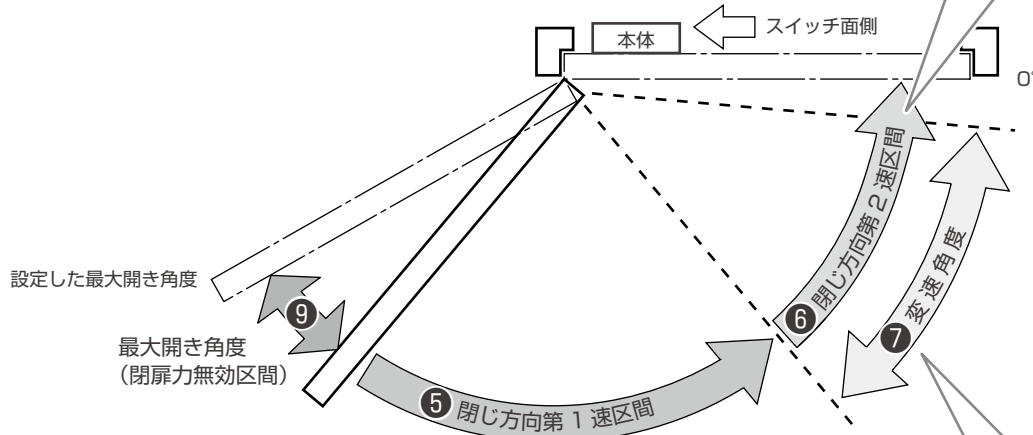
設定は、⑤→⑥→⑦の順番で行うことを推奨します。調整ツマミを回して、設定を行ってください。

	回転方向	初期設定	MIN (全右回し)	MAX (全左回し)
⑦ 変速角度				
⑥ 閉じ方向第2速				
⑤ 閉じ方向第1速				

〈スイッチ面〉



閉じ方向第1速区間（閉じ始め）より、「やや遅め」に調整します。



- ・ 変角速度よりも先に「全開位置（停止角度）」を設定してください。「全開位置（停止角度）」を変更すると、変速角度も変更されます。
- ・ ドアが 90°開いた状態から閉じきるまでの秒数は、安全のため 6 秒以上になるように設定してください。
- ・ 変速角度の設定角度は、20°～ 30°が目安です。

※ この図はイメージ図です。実際の変速角度は設定によって変わります。

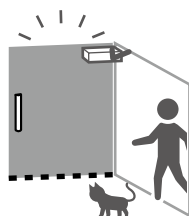
3-2-4. ドアの停止時間の設定

⚠ 注意

- ❗ 設定する前に、左右開きの設定がお使いのドアに合っているか必ず確認してください。
設定が間違っていると、ドアが思わぬ方向に開き、危険です。
左右開きの設定については、P.25の「3-2-6. その他の設定」の「■ 左右開きの設定」を参照してください。
- 🚫 調整ツマミは指で回して止まるところが最大(最小)です。マイナスドライバーなどで無理に回さないでください。

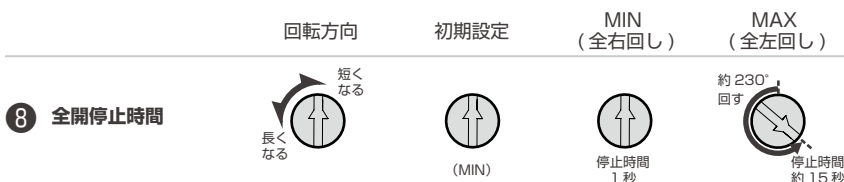
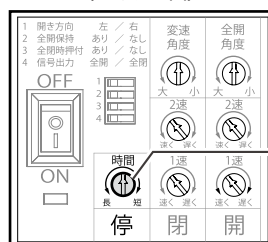
👉 アドバイス

ドアの停止時間中にドアを閉めたい場合は、手でドアを閉じてください。

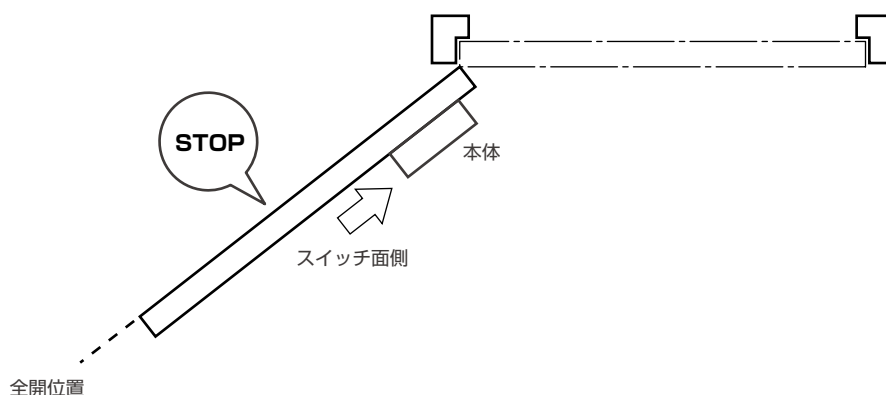


全開位置でドアが停止している時間を設定します。調整ツマミを回して、設定を行ってください。

〈スイッチ面〉



8 全開停止時間

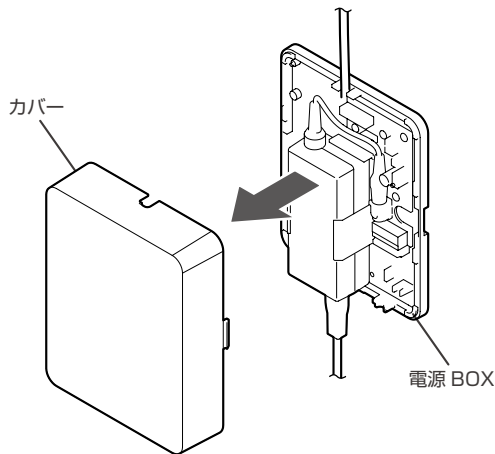


※ この図はイメージ図です。実際の全開位置は設定によって変わります。

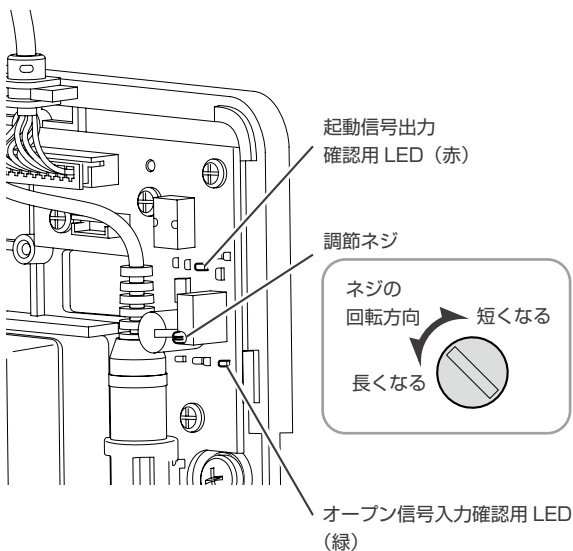
3. 設定方法

3-2-5. 待機時間の設定

- ドアが開き始めるまでの時間を設定することができます。
- オープン信号の入力からドアが開くまでの待機時間は、初期設定では「0秒」となっています。通常は「0秒」でご使用ください。
- 待機時間を設定したい場合は、以下の手順を行ってください。



1. 電源BOXからカバーを取り外します。



2. マイナスドライバーで調節ネジをゆるめます。(反時計回り)

⚠ 注意

- ❗ ドアが開き始めるまでオープン信号を入力し続けてください。ドアが開き始める前にオープン信号の入力がなくなるとドアが開きません。
- ❗ 社外品(外部機器)の仕様によっては、オープン信号を入力し続けられない場合があります。

🔧 アドバイス

調整範囲は、0秒～約5秒です。
例：待機時間を約3秒にしたいときは、ネジを左に10回転ほど回します。

3-2-6. その他の設定

■ 左右開きの設定

- 本体が取り付けられているドアのタイプと、「1 (開き方向)」のスイッチの設定が一致していることを確認してください。
- 設定が誤っている場合は、切替スイッチを切り替えてください。

⚠ 注意

「1 (開き方向)」の表示(左/右)はドアがどちらに開くかを示したものです。

- 左開きの場合: 「1 (開き方向)」のスイッチが左側
- 右開きの場合: 「1 (開き方向)」のスイッチが右側

下図を参照し、設定を間違えないように注意してください。

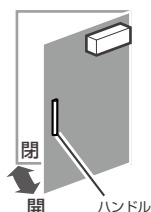
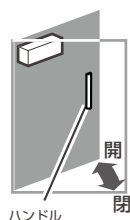
1 開き方向 左 / 右



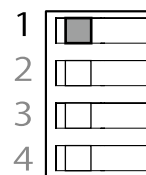
お使いのドアのタイプ

開き方向

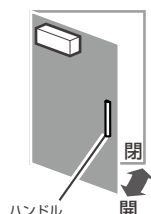
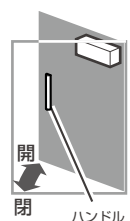
切替スイッチの設定



左開き (L)



「1 (開き方向)」のスイッチが左側になっている



右開き (R)



「1 (開き方向)」のスイッチが右側になっている

👉 アドバイス

切替スイッチは指で切り替えてください。
指での切り替えが難しい場合は、付属のスパナの先端または、精密ドライバーの先端で切り替えてください。



スパナ (付属品)



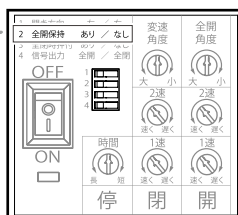
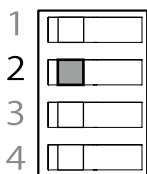
精密ドライバー (付属品)

3. 設定方法

■ 全開保持の設定

〈2 全開保持〉

あり / なし



「2 (全開保持)」を左側(あり)にすると、オープン信号が入力されている間、ドアは全開保持(開いたまま)になります。

「2 (全開保持)」を右側(なし)にすると、オープン信号が入力されていても、ドアは全開保持せず閉じます。



アドバイス

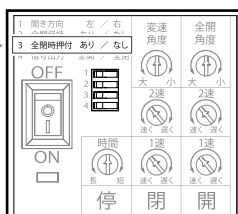
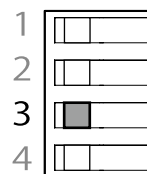
再度ドアを開きたい場合は、オープン信号を停止してから、もう一度オープン信号を入力してください。オープン信号が入力されたままだとドアは開きません。

■ 全閉時押付の設定

ドアに常時、少量の圧力を与えることによって風などによる閉扉時のドアのふらつきを抑えます。

〈3 全閉時押付〉

あり / なし



「3 (全閉時押付)」を左側(あり)にすると、閉じた状態のドアに圧力が付加されます。

「3 (全閉時押付)」を右側(なし)にすると、閉じたドアにかかる圧力が 0 になります。



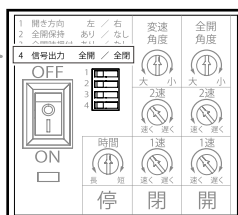
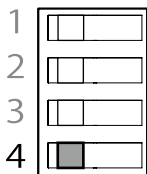
アドバイス

ラッチを外して外部指示により開扉をする場合(電気錠やリモコンで操作を行うドアなど)に有効です。
作動させることによって少量の電力を消費します。

■ 信号出力の設定

〈4 信号出力〉

全開 / 全閉



「4 (信号出力)」を左側(全開)にすると、全開時に信号出力(無電圧a接点)されます。

「4 (信号出力)」を右側(全閉)にすると、ドアが閉じているときに信号出力(無電圧a接点)されます。

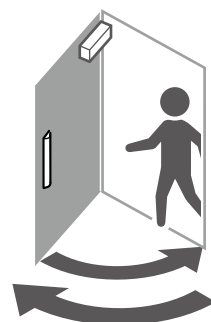
3-2-7. 便利な機能

本商品は便利な機能が搭載されています。

■ 反転動作

ドアが自動で閉じているときに、開き方向へ手で押し返すとドアの動きは開き方向に変化します。

また逆も同様に、ドアが自動で開いているときに、閉じ方向へ引っ張ると、ドアの動きは閉じ方向に変化します。



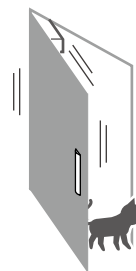
■ 停止動作

ドアの開閉範囲にモノや人などの障害物があり衝突した場合、ドアは停止します。

停止した後、停止をお知らせする「ピーッ」という長音が1回鳴ります。

停止した2秒後に「ピッ」という短音が2回鳴り、自動で閉扉します。

障害物を取り除かなかった場合は、停止と自動閉扉を繰り返します。

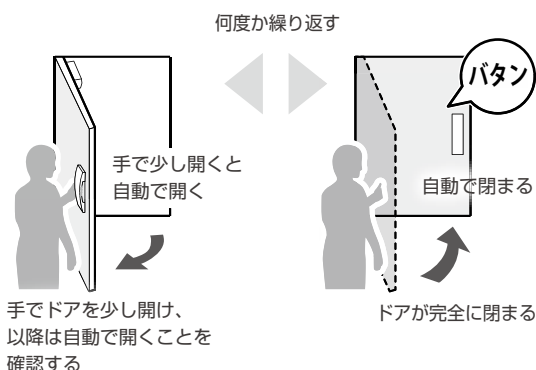


■ 停電時動作

本商品は、停電が起きると自動で非常電源(電池パックからの給電)に切り替わり、約15分間は自動開閉ができる状態が維持されます。詳細は、P.38の「5. 停電時の対応」をご覧ください。

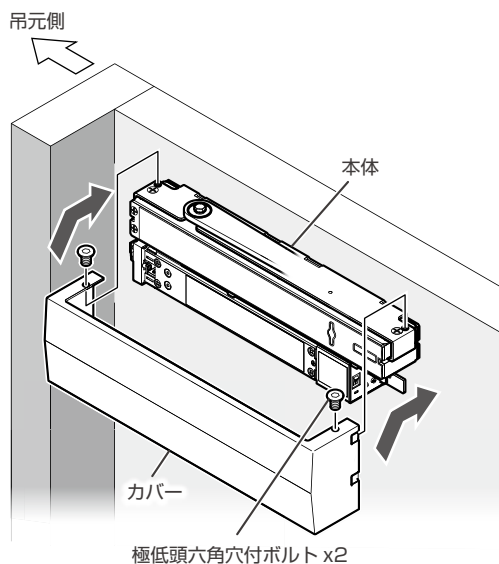
3-3. 設定後の復元を行う

- 動作確認を行ってから復元してください。
- 動作を再設定する場合は、必要に応じてP.17の「3-2. 各種設定を行う」を行ってください。



1. ドアの開閉動作を何度か行い、動作確認をします。

2. 本体にカバーを取り付け、極低頭六角穴付ボルト(2本)で固定します。

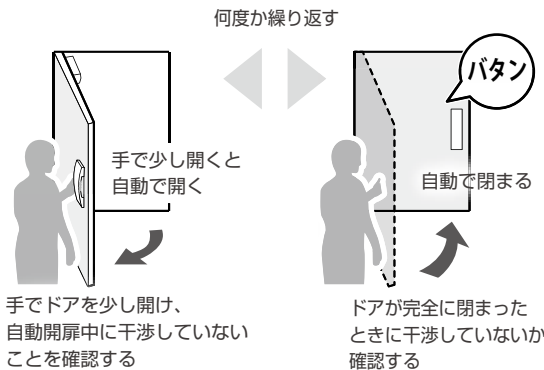


⚠ 注意

- ❗ コードがかみ込まないように注意してください。
- ❗ 電池パックのコネクターが電動本体の切り欠き穴に入っていることを確認してください。
- ❗ 「露出配線」の場合は、吊元側のプッシング(1箇所)を取り外してから、切り欠き部からコードが出るようにカバーを取り付けてください。「扉枠内配線」の場合は、プッシングを取り外す必要はありません。
- ❗ 極低頭六角穴付ボルトをきつく締め付けすぎると、カバーが破損するおそれがあります。ネジの頭が天面板に触れる程度に締め付けてください。

🔧 アドバイス

カバーは斜め下から入ると容易に作業できます。



- 3.** ドアの開閉動作を何度か行い、ドアやカバーにアームやコードなどが干渉していないか確認します。

3-4. 社外品の取付けについて

- 電動本体と電源BOXには外部機器用インターフェースが取り付けられており、本商品に対応する社外品(各種外部機器)や市販品(各種基板)を外部機器用インターフェースに接続することで、本商品をリモコンで操作したり、センサー感知でドアを開けたりすることができます。
- 本商品には追加基板ハーネスが付属しており、本商品に対応する市販品(各種基板)を接続することで、無線機器などによる自動開閉をすることができます。
- 社外品と市販品はお客様にてご用意ください。
- 本商品に社外品や市販品を取り付ける際は、電動本体の電源スイッチが「OFF」であることを確認し、各機をつなげているコネクターを外し、コンセントから電源コードを必ず抜いて作業を行ってください。
- 接続する社外品および市販品の取付要領書もよく読んで作業を行ってください。
- 本商品と社外品の接続には、シールド線を使用してください。
- 社外品の取付方法は、取付要領書のP.50～P.59をご覧ください。
社外品の取り付けが分からない場合は、施工業者および工務店にご相談ください。

4. メンテナンス

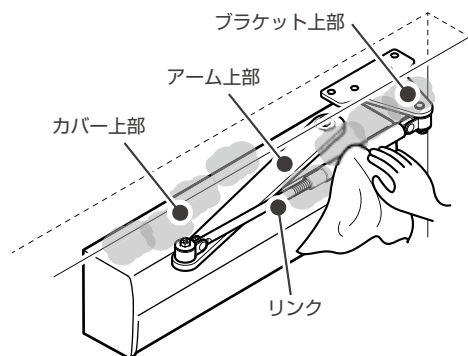
4-1. 清掃、整備、点検を行う

定期的に清掃や整備、点検を実施してください。

⚠ 注意

- ⊘ 本体の作動中にお手入れを行わないでください。お手入れの際は電動本体の電源スイッチを「OFF」にして、カバーを復元してから行ってください。
- ⊘ ほこり、粉塵などが多い状態で使用しないでください。そのまま使用すると火災のおそれがあります。

■ ほこりを取り除く

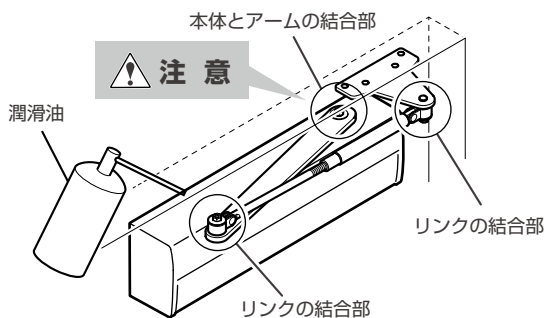


カバー上部、アーム上部、ブラケット上部、リンクのほこりを取り除きます。

⚠ 注意

- ⊘ ベンジンやシンナーなどを使用して清掃しないでください。変形や塗装はがれのおそれがあります。

■ 潤滑油を差す

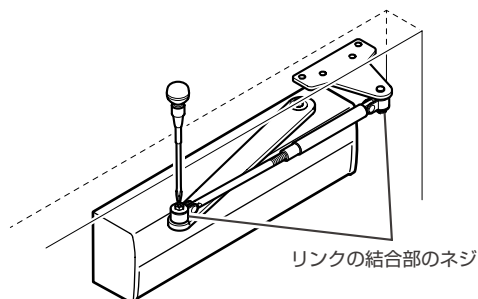


リンクの結合部に潤滑油を差します。

⚠ 注意

- ⊘ 本体とアームの結合部には絶対に潤滑油を差さないでください。商品が正常に作動しなくなります。
- ⊕ ドアなど周辺への潤滑油の飛散に注意してください。

■ ネジのゆるみを確認する



リンクの結合部のネジにゆるみがないか確認します。

4-2. 電池パックを交換する

- 電池パックは充電式です。電動本体に組み込んで充電を行います。
- 電池パックの充電は、本体と電源が接続されている状態であれば、電動本体の電源が「OFF」でも充電されます。非常時の動作を安定させるため、本体と電源は常に接続したままにしてください。
(本商品を長期間使用しない場合は電池パックのコネクターを本体から取り外してください)

⚠ 注意

- ❗ 電池パックの耐用年数は約6年^{*}です。ご使用開始から6年経過した場合、新しい電池パックに交換してください。電池パックは本商品をお求めの販売店、施工業者、または巻末の「保証書(お問い合わせ)」をご覧ください、お近くの当社営業所にご連絡ください。

※電池パックの耐用年数は目安です。使用頻度や使用環境によって耐用年数は変化します。予めご了承ください。

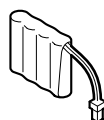
■ 使用するもの



六角棒スパナ(呼び2)
(付属品)

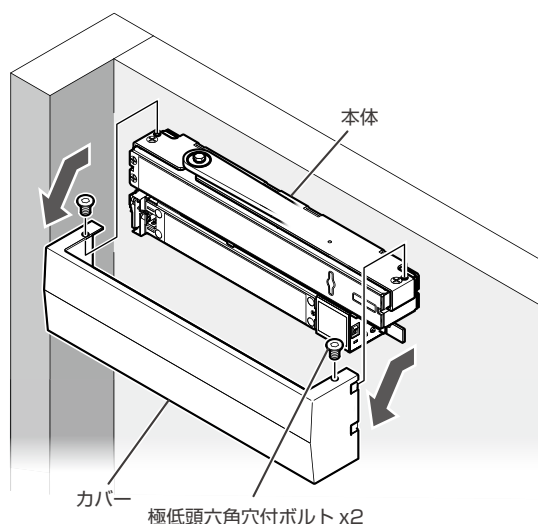


精密ドライバー(-)
(付属品)



電池パック(新品)
(品番: RUB-01)

■ 作業手順



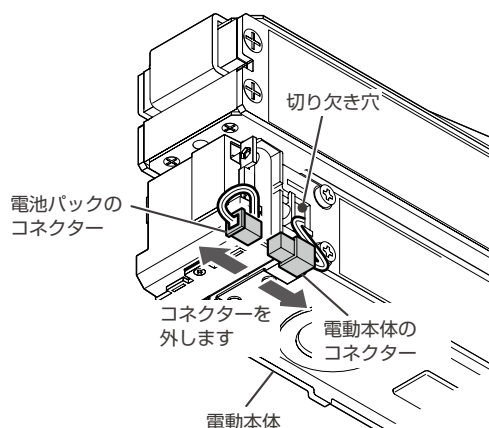
1. 極低頭六角穴付ボルト(2本)を外し、本体からカバーを取り外します。



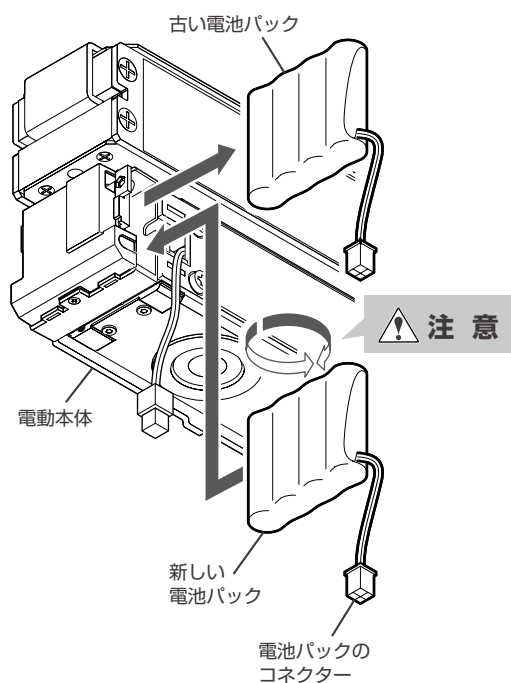
アドバイス

天面板を外す必要はありません。

4. メンテナンス



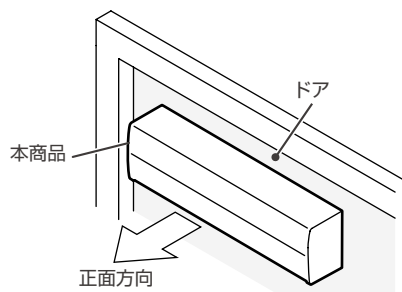
2. 電動本体の切り欠き穴からコネクターを取り出し、コネクターを外します。



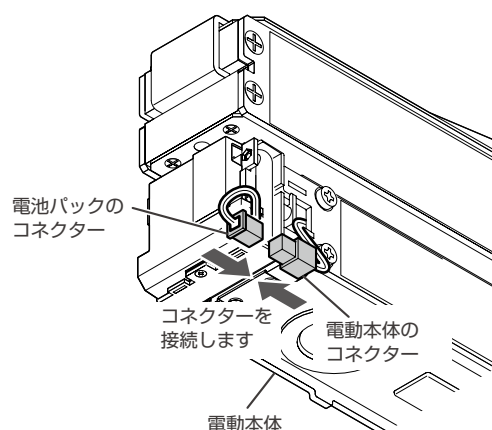
3. 古い電池パックを取り出し、新しい電池パックを電動本体に組み付けます。

⚠ 注意

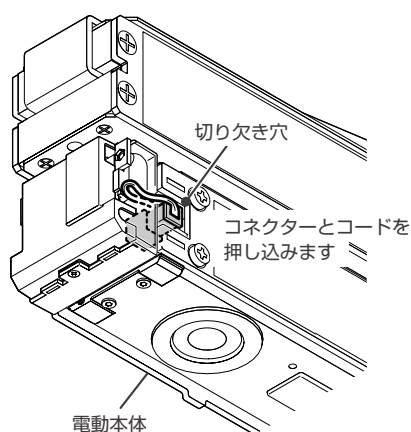
- ❗ 電池パックの組み付け向きは、取り付けるドアの開き方向によって変わります。本商品の正面方向に電池パックのコネクターがくるように組み付けてください。



- ❗ 古い電池パックを廃棄する場合は、端子にテープ等を貼り付け、各自治体の回収または家電量販店やホームセンターのリサイクルBOXをご利用いただき、リサイクルにご協力ください。



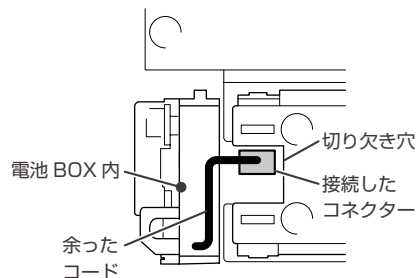
4. 電池パックと電動本体のコネクタを接続します。



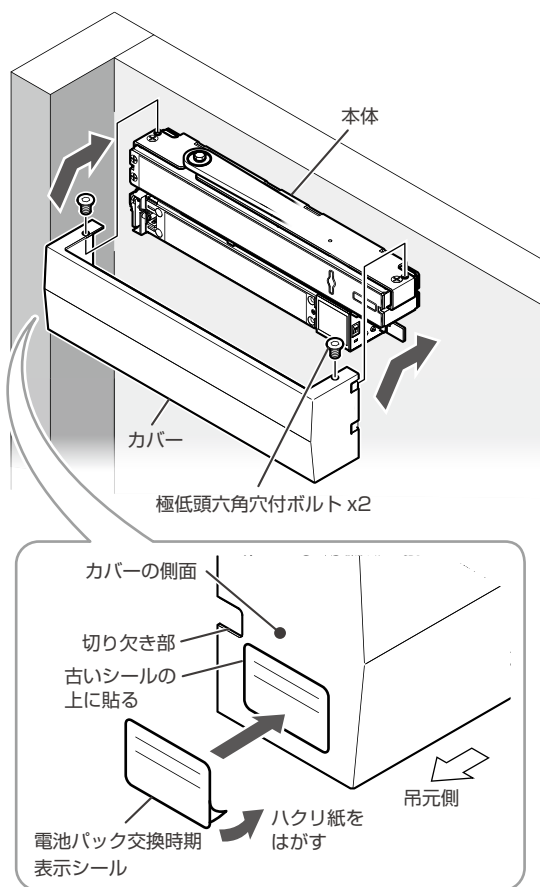
5. 電動本体の切り欠き穴にコネクタを押し込み、余ったコードは電池BOX内に押し込みます。

注意

- ❗ 押し込む際は、接続したコネクタは切り欠き穴に押し込み、余ったコードは、電池BOX内に押し込んでください。



4. メンテナンス



6. 電池バック交換時期表示シールをカバーの側面(吊元側)に貼り付け、カバーを復元します。

⚠ 注意

- ❗ 電池バック交換時期表示シールは、「使用開始日」、「交換推奨時期」を記入してから、貼り付けてください。「交換推奨時期」は使用開始日から6年後が目安です。
- ❗ 電池バック交換時期表示シールは、吊元側のカバーの側面に古いシールの上から貼り付けてください。
- ❗ カバーを取り付ける際、コードがかみ込まないように注意してください。
- ❗ 「露出配線」の場合は、カバーの側面の切り欠き部からコードが出るようにカバーを取り付けてください。
- ❗ 極低頭六角穴付ボルトをきつく締め付けすぎると、カバーが破損するおそれがあります。ネジの頭が天面板に触れる程度に締め付けてください。

4-3. 本体の取外しについて

- メンテナンス時や部品の交換など、ドアから本体を取り外す場合は、取付要領書のP.70～P.75に従って取り外してください。手順通りに取り外さないと本体が故障するおそれがあります。
- 取り外したネジは、なくさないように注意してください。

4-4. 故障かな?と思ったら

こんなとき	考えられる原因	ご確認ください!
動かない	電源が入っていない	電動本体のスイッチ面を確認し、電源スイッチが「OFF」の場合は「ON」にしてください。  P.12
		取付要領書「4. 配線方法」に従って、コネクタやコードに抜けがないか確認してください。  「取付要領書」P.42~49 ACアダプター*と電源コードに抜けがない場合は、ACアダプターの故障が考えられますので、販売店またはお近くの当社営業所にご連絡ください。
電源スイッチを「ON」にするとドアが勝手に開く	切替スイッチ(左右開き)の設定が誤っている	「■ 左右開きの設定」に従って、正しく設定しなおしてください。  P.25
	アームの取付方法が誤っている	取付要領書を確認し、正しく取り付けなおしてください。  「取付要領書」 パラレルタイプ P.16~ スタンダードタイプ P.30~
取付ができない	本体の向き(左右開き)が誤っている	取付要領書を確認し、正しく取り付けなおしてください。  「取付要領書」 パラレルタイプ P.16~ スタンダードタイプ P.30~
調整できない	—	「3-2. 各種設定を行う」を確認し、ご自身で調整ができない場合は販売店またはお近くの当社営業所にご連絡ください。  P.17~
閉まるのが早い	閉じ方向第1速区間の設定 閉じ方向第2速区間の設定	「3-2-3. ドアを閉じるときの設定」に従って、設定しなおしてください。  P.22
開くのが早い	開き方向第1速区間の設定 開き方向第2速区間の設定	「3-2-2. ドアを開くときの設定」に従って、設定しなおしてください。  P.21
ボタンと閉まる	閉じ方向第2速区間の設定	「3-2-3. ドアを閉じるときの設定」に従って、設定しなおしてください。  P.22
閉じ際を遅くしたい		
開きの最後を遅くしたい	開き方向第2速区間の設定	「3-2-2. ドアを開くときの設定」に従って、設定しなおしてください。  P.21
停止しない	全開位置(停止角度)の設定	「3-2-2. ドアを開くときの設定」に従って、設定しなおしてください。  P.21
全開位置の停止時間が長い	ドアの停止時間の設定	「3-2-4. ドアの停止時間の設定」に従って、設定しなおしてください。  P.23
開閉中にドアが停止する	障害物がある	障害物を取り除き、ドアがスムーズに開閉するか確認してください。
	誤った全開位置が設定されている	ドアを自動で開閉させ、正しい全開位置まで閉じてください。

※ ACアダプターは有寿命部品です。交換の目安は使用頻度や条件により異なりますが、約6年です。尚、この期間はあくまでも目安であり、故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。温度や湿度の条件等、ご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、商品の保証期間外であれば有償となります。

こんなとき	考えられる原因	ご確認ください!
閉まるのが遅い	閉じ方向第1速区間の設定 閉じ方向第2速区間の設定	「3-2-3. ドアを閉じるときの設定」に従って、設定しなおしてください。  P.22
開くのが遅い	開き方向第1速区間の設定 開き方向第2速区間の設定	「3-2-2. ドアを開くときの設定」に従って、設定しなおしてください。  P.21
手動での開扉が重い	切替スイッチ(全閉時押付)が「ON」になっている	「■ 全閉時押付の設定」に従って、切替スイッチを設定してください。  P.26
ドアが閉まりきらない	切替スイッチ(全閉時押付)が「OFF」になっている	「■ 全閉時押付の設定」に従って、切替スイッチを設定してください。  P.26
	障害物がある	障害物を取り除き、ドアがスムーズに開閉するか確認してください。
	ドアに抵抗がある	「3-2-3. ドアを閉じるときの設定」に従って、閉じ方向第2速区間を「少し速め」に設定してください。  P.22
開扉時に「ピッピッ」という短音がする	開扉の勢いで全開位置を超えている	「3-2-2. ドアを開くときの設定」に従って、開き方向第1、2速区間を「遅め」に設定してください。  P.21
停電時	—	非常電源に切り替わり、約15分間自動で動作します。(センサー類は使えなくなります) 非常電源が機能していない場合、手動でドアを開閉してください。 停電復旧後、復旧操作を行ってください。  P.38 ~
停電時、非常電源に切り替わらない	電池パックが消耗している	非常電源に切り替わり、電池パックを使い切ると再充電できるまで非常電源は機能しません。 停電復旧後、再充電完了までお待ちください。 (電池パックを使い切ってから満充電までの目安は、約1日です)
		新しい電池パックに交換してください。  P.31 ~
停電後、ドアが自動で開かない	閉扉モードに切り替わっている	「5-2. 復旧操作」に従って、復旧操作を行ってください。  P.39
停電後、ドアが開くのが遅い		
その他 異常動作	—	電動本体のスイッチ面を確認し、電源スイッチを「OFF」にした後に「ON」にしてください。  P.12
ドアが開ききらない	開き方向第1速区間の設定 開き方向第2速区間の設定	「3-2-2. ドアを開くときの設定」に従って、開き方向第1、2速区間を「少し速め」に設定してください。  P.21

上記をお試しいただいても改善されない場合は、お求めの販売店、施工業者、または巻末の「保証書(お問い合わせ)」をご覧ください、お近くの当社営業所にご連絡ください。

5. 停電時の対応

5-1. 停電時の動作について

- 停電が起きると自動で非常電源（電池パックからの給電）に切り替わり、自動開閉ができる状態を維持します。ただし、停電中は電動本体および電源 BOX からセンサー類への電源供給は止まりますので、センサー類は使用できなくなります。
- 停電から約 15 分間経つと、電池パックの残量がなくなり、閉扉モードに切り替わります。この際、本体から「バチン」という大きな音がしますが故障ではありません。
- 閉扉モード中は、本体への電源供給はされていないので、ドアはバネの力で閉まろうとします。停電から約 15 分以上経った後にドアの開閉を行う際は、手をはさまないように注意してください。
- 停電から復旧後、停電前と同じように本商品を使用するには、次ページに従って、復旧操作を行う必要があります。

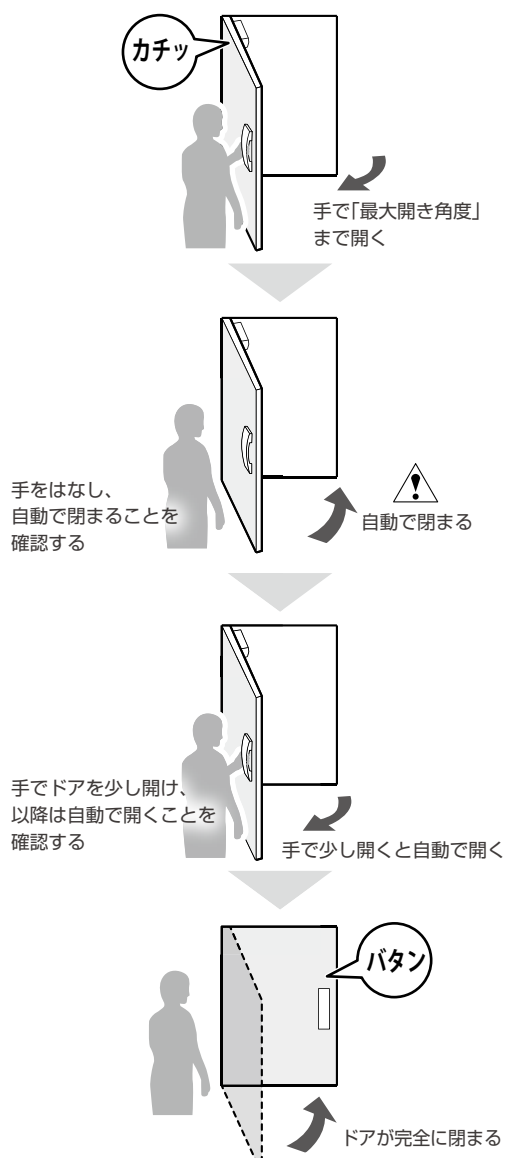


アドバイス

- 電動本体および電源 BOX 以外からセンサー類へ電源供給されている場合、電動本体とセンサー類が接続されている場合のみ、センサー類からの信号を受け付けることができます。その場合、電池の消耗が早くなり、停電中の本商品の作動時間が短くなります。
- 電源 BOX に接続されているセンサー類からの信号は受け付けることができません。
- 閉扉モード中は、電源供給が止まっていますので手でドアを開ける必要があります。ドアを閉める場合は、手をはなすとバネの力でドアは自動で閉まります。

5-2. 復旧操作

- ・ 停電から復旧すると、本体への電源供給が再開されます。その際、本体から「ピー」という音がします。
- ・ 復旧後は、以下の要領にしたがって、復旧操作を行ってください。



1. 手で「最大開き角度」までドアを開けてから手をはなします。
2. ドアが自動開閉することを確認します。

⚠ 注意

- ❗ 設定した速度より、ドアが速く閉まったり、遅く閉まったりする場合は、復旧操作が正常に終了していません。再度、復旧操作を行ってください。

👉 アドバイス

- 「最大開き角度」以上開くと「カチッ」と音がしますが、環境によっては聞こえない場合があります。その場合はドアが元の開閉速度で動作することを基準にしてください。
- ドアは自動で開こうとしていますが、商品内のバネによって閉まろうとする力の方が大きい状態です。手でドアを開ける際は、ドアが開くのを補助するようなイメージでドアを手で支えながら開いてください。
- 「カチッ」と音がする角度（停電前に設定していた開き角度）付近までドアを開くと、ドアが閉まろうとする力が大きくなります。「カチッ」と音がするまでゆっくりと力をかけてドアを開いてください。
- 「最大開き角度」の設定は初期化されませんので、再設定の必要はありません。

6.仕様

商 品 名		RUCAD (ラクアド)
型 式	扉枠内配線	RU-031P-B R、RU-031P-B L、RU-031H-B R、RU-031H-B L
	露 出 配 線	RU-032P-B R、RU-032P-B L、RU-032H-B R、RU-032H-B L
適用ドアサイズ		最大サイズ：DW1,050 mm × DH2,400 mm、最大重量：85 kg (ドア巾：DW800 ～ 1,050 mm、ドア重量：60 ～ 85 kg) JIS # 1 ～ 4 のドアサイズ
入力電圧 周波数		AC100 V 50/60 Hz
出力電圧 電流		DC12 V 2.0 A
最大使用電力		24 W
取付 方式		パラレル取付・スタンダード取付
勝 手 区 分		左右勝手専用
付 属 機 能	手 動 起 動	扉を 2° ～ 10° 開くと自動開閉を開始
	自 動 起 動	無電圧 a 接点入力により自動開閉を開始
	開 き 調 整	1 速度・2 速度は個別に任意設定 (0 秒～ 20 秒 1 速度 0 秒設定はアシスト)
	閉 じ 調 整	1 速度・2 速度は個別に任意設定 (3 秒～ 20 秒)
	開き変速角度	開き 1 速度・2 速度の間 (変速角度) は固定
	閉じ変速角度	閉じ 1 速度・2 速度の間 (変速角度) は任意設定 (全開位置の 5 ～ 80 %)
	全 開 位 置 (停止角度)	・パラレル取付：50° ～ 130° ・スタンダード取付：30° ～ 130°
	全開位置停止時間	任意設定 (1 秒～ 15 秒)
	異 常 停 止	全区間障害物接触時異常停止、2 秒後自動復帰 (手動復帰可)
	反 転	自動開閉中、任意の角度で手動反転可能
	閉扉押付	全閉時の押付力付加のあり / なし設定可能 (なし設定時の押付力は 0)
	ブレーキ装置	・開き動作中、センサー (別売) に連動し、ブレーキ作動 ・1 分以上停止した場合、ゆっくり自動閉扉動作開始

付 属 機 能	出 力	開扉完了または閉扉完了時に信号出力（無電圧 a 接点） （電源 BOX 内のインターフェイスのみ） ※ 社外品からの入力：DC24 V、0.1 A 以下
	ディレイ機能	起動信号が入力され続けると、ディレイ設定時間後に自動開閉を開始 （ディレイ時間：0 秒～5 秒）
	停電時作動	手動起動により自動開閉可能
	インターフェイス	・ 本体（扉側）端子： 起動入力× 1、停止入力× 1、センサー用電源× 1（DC12 V 0.1 A） ・ 電源 BOX（枠側）端子： 起動入力× 1、停止入力× 1、センサー用電源× 1（DC12 V 0.1 A）、出力× 1 ※ センサー用電源（電流値）は本体、電源 BOX の合計値
使用 環 境	周 囲 温 度	・ 作動時：-10℃～50℃ ※電池パックによる起動時（停電時）：0℃～40℃ ・ 保管時：0℃～40℃
	周 囲 湿 度	5～80 % RH（結露なきこと）
色 調		ブラック、シルバー
電池パック（品番：RUB-01）		・ 停電時、手動起動による自動開閉可能 ・ 停電時、電池パックの電池残量がなくなるまで（満充電から約 15 分）、 自閉モードへの切り替えの遅延が可能 ※ 自閉モードへの切り替えが遅延している時に停電復旧した場合の復旧作業は不要

保証書（お問い合わせ）

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に修理、交換をご依頼ください。

保証期間

施工者よりの引き渡し日（注１）（注２）から１年間。
（注１）改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。
（注２）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証内容

取扱説明書またはその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理、交換いたします。
ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。
（１）無料修理をご依頼になる場合には、商品に保証書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申し付けください。
（２）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの当社営業所にご連絡ください。
（３）ご転居の場合の修理御依頼先などは、お買い上げの販売店または、当社営業所にご相談ください。
（４）ご贈答品などで保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、お近くの当社営業所にご相談ください。
（５）取扱説明書は日本国内においてのみ有効です。また、再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

免責事項

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（１）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（２）お買い上げの後の取付場所の移送、輸送、落下などによる故障及び損傷
（３）火災、地震、水害、落雷、その他の天変地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（４）車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（５）取扱説明書のご添付がない場合
（６）取扱説明書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（７）持ち込み修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料などはお客様の負担となります。
また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様負担となります。

お買い上げ日及び販売店名

お買い上げ日	年	月	日	レシートをこの欄にお貼りください
販売店名				
ご住所				
お電話番号				

※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※本書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお問合せください。

RYOBI リョービ株式会社

<https://www.ryobi-group.co.jp/>

札幌	〒062-0937 札幌市豊平区平岸七条 14-3-48	電話 (011)811-8232	FAX(011)832-3013
仙台	〒984-0042 宮城県仙台市若林区大和町 5-10-1	電話 (022)237-6201	FAX(022)237-6206
東京	〒114-8518 東京都北区豊島 5-2-8	電話 (03)3927-5533	FAX(03)3927-9415
富山	〒939-8214 富山市黒崎 107-1	電話 (076)493-2225	FAX(076)493-2226
名古屋	〒468-0034 名古屋市天白区久方 1-145-1	電話 (052)807-1643	FAX(052)807-4820
大阪	〒569-0814 大阪府高槻市富田町 1-6-17	電話 (072)655-0107	FAX(072)655-0153
広島	〒736-0082 広島市安芸区船越南 3-7-29	電話 (082)823-0028	FAX(082)823-1231
福岡	〒811-2305 福岡県糟屋郡粕屋町柚須 107-1	電話 (092)623-5000	FAX(092)623-5625

※営業所の連絡先は変更になる場合があります。
※お問い合わせの際は、商品名「電動式ドア開閉装置 RUCAD（ラクアド）」とご相談内容をお伝えください。

仕様の変更について………商品の改良に伴って仕様の一部を変更する場合がありますのでご了承ください。